

がん・肝炎・糖尿病などで 長期療養しながら、働きたい方へ

病気と仕事のことで不安をお持ちではありませんか？

- ◆ 通院の必要はあるが働きたい
- ◆ 自分の病状、体力にあった仕事があるのか不安
- ◆ 病名を言わないといけないか・・
- ◆ 雇ってくれる会社があるのか、会社に理解を得られるか不安
- ◆ お金が必要、働かなければいけない など



そんな悩み・
不安がある方

専門窓口相談

ハローワーク出雲で相談
してみませんか！？

【ハローワーク出雲】 電話 0853-21-8609 FAX 0853-21-0391

◆相談をご希望の方は、「**長期療養相談希望**」とお伝えください。

病院での「出張相談」も開催しています！※原則予約制です！

ハローワークの出張相談

【島大病院】 日 時：毎週木曜日 10：00～12：00

場 所：島根大学医学部附属病院

がん患者・家族サポートセンター（外来診療棟3F）

【県立中央病院】 日 時：第1・第3水曜日 11：00～13：00

場 所：島根県立中央病院 やおよろず相談プラザ内

入退院支援・地域医療連携センター（1F）



出張相談・問合わせ先

★ハローワーク出雲★

電話 0853-21-8609
FAX 0853-21-0391

★島根大学医学部附属病院★

がん患者・家族サポートセンター

電話 0853-20-2518
FAX 0853-20-2545

★島根県立中央病院★

入退院支援・地域医療連携センター

電話 0853-30-6500
FAX 0853-30-6508

働きたいを応援します！

ケース1

治療が長引き、就職活動が長期化したものの働きたいとの思いは失わず、再就職を果たした事例
Aさん 50代女性(乳がん)

治療や体調に合わせ、ご自身に合った働き方を一緒に考えましょう！



- ◆初回相談は乳がんの術後2日目。入院中の病院で「ハローワーク出張相談」を利用。「早く働きたい」と言われていたが、その後の診断で化学療法・放射線治療が必要となり、不安や焦りが見られた。
- ◆治療しながら継続相談する中で、徐々に気持ちの変化があり、元気になって働きたい思いが出てくる。治療後半に入り、主治医に相談した上で、園芸作業のアルバイトで2ヶ月就労。「楽しく働けた」と笑顔で話され、前向きになれる。
- ◆治療終了の目途が見えた頃からは、積極的に一緒に情報収集開始。最終的に、経験が活かせる内容の事務パートで採用。会社には時間条件変更にも快諾いただけた。面接では体調面も含め、自分の思いを伝えられており、コミュニケーション能力が評価された。初回相談から1年かかったが再就職となる。

ケース2

新たな目標に向けてスタートを切ることができた事例
Bさん 50代女性(肺がん)

- ◆20年以上働いた事務職から福祉職(正社員)へ転職した直後に病気がわかり退職。肺がんは早期で手術のみ。就労可能な診断はあるが、術後の痛み等で不安そうな様子があった。
- ◆病院での「ハローワーク出張相談」で主治医の「就業上の制限なし」の見解が確認できて安心されていた。しかし本人からは、「今後の仕事をどうするか、答えが出ない」と言われたため、心の面でのケアが必要と感じ、ハローワークでのカウンセリングを案内した。1回のカウンセリングだったが「思いっきり話せて良かった」「(福祉の専門資格取得の)勉強を再開する」と前向きになられ、ターニングポイントとなる。
- ◆その後、福祉専門職をうけるも不調。「資格や経験が自分には足りないと感じた」と省みることができ、フルタイムではなくパートで働きながら勉強と両立していく方向となる。最終的に、福祉職のパートで採用。今後は少しずつ経験を積み、徐々に活動範囲を広げることが目標。